

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	林業基盤整備事業			事業番号	20-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	田中 丈司	農業振興課 農林整備担当	樋口 明	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	1	地域の産業がさかんなまちをつくる	
		施策	20	地域とつながる都市農業・林業づくりの推進	
予算事業名	林業基盤整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	平成30年度
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱(地域林業形成促進事業、水源の森林づくり協力協約事業)				
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、県地域森林計画			計画期間	平成23年度～
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画			計画期間	平成23年度～
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	森林は、地域に安全で快適な自然環境を提供すると共に、保安林としての豊かな水資源を確保する機能を有している。都市近郊の森林の多面的な公益機能を確保するため、森林の管理施策を積極的に推進し、自然環境の保全と社会的公益機能の確保に努めなければならない。				
目的 (何をどうしたいのか)	管理道の整備により、適切な施業管理とともに森林の持つ多面的な公益的機能の確保を図る。 林産物(木材) 500m3の搬出				
主な対象 (誰・何を対象に)	民有林、市有林				
事業内容 (手段、手法など)	・水源林管理道の整備を推進していきます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	作業路	工事実施		工事実施	
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	水源管理道の整備延長	L=1,031m	L=1,050m	L=1,050m	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	委託先の年間計画と調整を図り、着実に年度内に完了出来るように執行していく。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 伊勢原市森林組合
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	作業路	工事実施	
実施した取組の内容	作業路 L=1,101m整備		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	水源管理道の整備延長	L=1,031m	L=1,101m

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
	事業費合計 (a)			8,775	千円			千円		
内訳	国県支出金 ①			7,897	千円			千円		千円
	地方債 ②			0	千円			千円		千円
	その他特財 ③			0	千円			千円		千円
	一般財源 (a)-①-②-③			878	千円			0		千円
国県支出金の内容		水源の森林づくり協力協約推進事業補助金 (県90% 市10%)								
その他特財の内容	受益者負担		○ 有 ● 無		前回の改定時期					
	その他									
人件費	正規職員		0.13	人	1,125	千円		人		千円
	その他の職員		0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)		0.13	人	1,125	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				9,900	千円					千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民			単位				単位
		対象数		101,635	人					
	総事業費 / 対象数		97	円						円

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	・作業路整備計画延長L=1,050mに対し、L=1,101mの整備を行った。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	・神奈川県の実業標準単価を使用しているため、他市と同水準での実施事業である。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	・作業路の整備により、林業機械(搬出・運搬)の導入が可能となることから、森林作業の効率化、生産性の向上につながるため、有効性は高い。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	・森林施業に従事している森林組合に本事業を委託しているため、効率的に実施されている。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	・事業を実施するためには、地権者の同意が必要であることから、整備箇所により地権者数が多数になり、同意を得る作業に時間を要する。
次年度取組方針		・委託先と事業執行の調整を図り、着実に年度内に完了できるように計画的に整備を進める。		
所管部長による総評		・本市が保有する森林の、安全で快適な自然環境の提供と、保安林としての豊かな水資源の確保など、多面的な公益機能を確保するため、適切な管理施業を継続的に実施する必要がある。 ・このためには、作業路の整備は必須であり、今後も計画的に本事業を推進していく必要がある。		